

2016年エクストリーム地区大会参加方法

第18回エクストリームチャンピオンシップの参加手続きについて、ご説明いたします。
必ず最後までお読みになり、お手続きください。

参加登録方法

1. ルールブック(お手元がない方は、ホームページ内「ルール」のページでダウンロードできます)または、P4~5「競技ルールについて」をよくお読みください
2. 初参加ペアは以下の①~④が必要です。登録済みのペアは以下の①~③が必要です。
 - ①参加料の振込(詳細説明①、及びP3「手続き日一覧表」参照)
 - ②記入済参加申込書の提出(参加犬1頭につき1枚必要です)
参加申込書は本状をダウンロードしたページより、PDF形式、もしくはWord形式のいずれかをダウンロードしてお使いください。
 - ③狂犬病予防接種 or 5種以上の混合ワクチン証明書コピー提出(全参加犬必要)
 - ④写真2種類提出(初登録ペアのみ必要)
3. ゆうちょ銀行のエクストリーム受付事務局口座に参加料をお振込みください。振り込み方法の詳細につきましては下記、詳細説明①をお読みください。
4. 詳細説明②に従って、参加申込書に必要な事項を記入し、必要書類と合わせて後記のエクストリーム受付事務局宛にお送りください。
※過去17回いずれかの地区大会に参加し、登録済みのペアにつきましては、写真は不要です。入力済の②をメール添付でお送りいただき③をFAXで送信いただいても結構です。登録済みのペア、あるいは初参加のペアでも③や④をスキャンするなどしてJPEGなどの画像データにすることが可能であれば、②と併せて、メールに添付して送信でも受付いたします。
5. すべての手続きが完了したことが確認できましたら、参加説明書・参加票・会場までの地図、などを発送いたします。ただし、発送開始は各地区大会の開催日より1ヶ月前からとなります、ご了承下さい。届きましたら必ず事前に中身を確認し、間違いや変更などがありましたら、すぐにご連絡ください。上記3と4の手続きが完了し、事務局から参加票などの必要書類がお手元に届くまで1週間程要しますので、必ず参加希望地区大会の手続締切日(P3手続き日一覧表参照)までに手続きをしてください。

※手続き完了後の申込者の諸事情による事前キャンセルに関しましては、お振り込みいただいた参加料から諸費手数料(¥1,000)を差し引いた金額を現金書留にて、お返しできます。また、事前キャンセルの場合、参加料を他の会場に振り替える(今年度中1回のみ)ことができます。この場合手数料は不要です。ただし、開催当日のキャンセルにつきましては会場変更、参加料の返金ともにできません。詳しくは各会場の参加説明書に記載されます。

詳細説明

①参加料の振込

ゆうちょ銀行の窓口設置されている払込取扱票に住所、参加者名、電話番号、参加日(申込会場の日付)、各種目の参加頭数、参加料の合計金額を記入し、申込会場の事務締切期日までにお振り込みください。振込先等につきましては、P3払込取扱票見本をご覧ください。なお、ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方は、ゆうちょ銀行のATMにてエクストリーム事務局の口座宛に口座間送金をされますと手数料は不要です。

ただし、お振込の際に通帳かキャッシュカードが必要です。ご注意ください。

(記入済の払込票でATMから現金でのお振込も可能ですが、手数料が若干必要です)

口座間送金(インターネットを含む)される方で、口座名義人が参加者と異なる場合は事前に電話かメール(携帯可)にてご連絡をお願いいたします。

参加料(1会場)	総合部門(ミニチュア・オープン共に)	1頭	5,000円
	総合特別ルール(ミニチュア・オープン共に)	1頭	4,000円
	ハイスピード部門(ミニチュア・オープン共に)	1頭	4,000円
	追加練習(総合・ハイスピードA・B各)	1頭	1,000円

②参加申込書

必要事項をすべて記入(入力)していただき、参加希望会場の手続き期日までにご返送ください。(P 3 手続期日確認表参照)※今年度中2回目以降は不要

氏名欄には必ず参加者(ハンドラー)のお名前を記入してください。種目によって参加者が異なる場合は、参加者②の欄に記入し、それぞれの方がハンドラーとなる種目に印を付けてください。会場によって参加者が異なる場合は参加希望会場の備考欄に①か②をご記入ください。(参加者は参加犬と同居する家族に限られます)

参加犬の名前は通常呼んでいる名前で結構ですが、原則申込書に入力(記入)された文字で今年度は登録されます。途中変更はできませんので、予めご了承ください。

※ミニチュア犬は体高欄に体高(4本足で立った状態で前足が着いた地面から首の付け根あたりまでの垂直の高さ)をご記入ください。ミニチュアクラスへの参加犬は体高41cm未満に限られます。別紙「体高について」をご覧ください。

参加希望会場、参加希望種目は複数選んで頂けますが、参加料はそれぞれ必要です。

同じ会場で同じ参加犬がペア写真の登録があれば、種目によって参加者を変更できますが、参加者を変えても、同じ種目に複数回参加することはできません。

追加練習(詳細はP 5 参照)を希望の方は、希望会場の備考欄に【A】【B】の内、希望する練習のアルファベット(両方でも可)を必ずご記入ください。

③狂犬病予防注射、あるいは5種以上の混合ワクチン接種証明書のコピー(全参加犬)

原則として、以下A・Bの条件を満たしている狂犬病予防接種済証明書、あるいは5種(ジステンパー、パルボウイルス等)以上の伝染病予防混合ワクチンのコピーに限ります。

なお、諸事情によりワクチン接種ができない場合、A・Bの条件を満たしていれば、伝染病抗体検査済証のコピーでも登録可能です。

A接種証明書は所有者であることの証明としても使用しますので、参加者もしくはその家族の名前・住所(書類の送付先と同住所)・参加犬名が必ず記載されていること。

B原則として証明書に記載の接種(検査)年月日が1年以内である。ただし、1年を過ぎていても証明書に記載されている「次回接種日」が事務局に届いた日より後であれば、証明書は有効です。

◇接種証明書が手帳になっている場合は、上記Aが記載された頁と上記Bにある期間に接種した時のシールが貼られている頁、両方をコピーしてお送りください。

◇証明書に記載の住所・氏名などの文字が複写式になっている場合、モノクロコピーでは写らないものがあります。この場合は携帯等のカメラで必要箇所の文字が読めるように写し、後記アドレスまでメールに添付してお送りください。

◇紛失などでお手元にない方は、接種した病院で再発行していただいでください。

特例1：接種(検査)してから手続までの間に転居や婚姻などの諸事情で証明書に記載の住所、名字などが違う場合でも上記Bの条件を満たしていれば受け付けます。

特例2：初参加犬の場合のみ所有者がブリーダー名など、前所有者になっている場合でも上記Bの条件を満たしていれば受け付けます。

※特例1、もしくは特例2の証明書を提出した参加犬が決勝大会の出場権を得た場合、こちらが定める日までに、上記A・Bの条件を満たすワクチン接種証明書、またはAの条件を満たすペット保険証書や獣医の証明書など、いずれかを提出していただき同居の確認をさせていただく場合がありますので、予めご了承ください。

④写真2枚(初参加ペア・初参加犬のみ)

1 = 参加者と参加犬と一緒に写っている写真(鮮明なもので参加者の顔が分かるもの)

2 = 参加犬のみで全身が写っているもの。(正面、横向きどちらでも可)

◇プリント写真サイズは9cm×13cm以内(画像データの場合鮮明であればサイズ不問)のものにしてください。縦使い、横使いどちらでも結構です。

写真はお返しできませんので、ご了承ください。

◇それぞれの写真の裏面(データ名)に参加者氏名と参加犬の名前を書いてください。

※同じ参加犬で種目によって、また会場によって参加者が変わる場合、参加者と参加犬と一緒に写った写真はそれぞれのペアのものがが必要です。(全員と一緒に写っている写真でも可)参加犬の全身写真は共用できます。

宛先：エクストリーム受付事務局 〒418-0103 静岡県富士宮市上井出3472-113

tel 0544-54-2266 (受付時間は祝日を除く月曜～金曜9時～17時)

fax 050-3737-5730 (24時間受信可能)

メールアドレス：extreme@wanwan.org

◇エクストリーム競技ルールについて ※ルールブックから抜粋したものと、補足説明。

☆総合・ハイスピード共通ルール

- ①競技中(スタートからゴールまでの間)はノーリード(参加犬からリードをはずした状態)でおこなわれます。
- ②機材と見なされている部分(マウンテンの人間用補助台部分は除く)はすべて参加犬のみが通ることができ、ハンドラー(併走者)が通ることはできません。
- ③機材は決められた進行方向から(始点から終点まで)通過した場合のみクリアとし、逆方向からはクリアと認められません。
ただし、制限時間内であれば何度でもやり直し可能。
- ④参加犬がスタートしてからゴールするまでハンドラー(併走者)は手に何も持つことができません。
- ⑤総合、ハイスピードともスタート台の上に参加犬の4本の足が乗り、静止(足踏み程度は許されます)した状態からのスタートとなります。原則としてスタート地点に設置された赤外線感知システムの時計が作動した後のやり直しはできません。なお、参加犬がスタートする前に参加者は台の上面(側面は可)に触れることはできません。

☆総合種目について

- ①フラッグは16本の直立して並んでいるバーを始点から終点まで、バーとバーの間を交互に通過しなければいけない。参加犬が正確にクリアできなかった場合、またはバーとバーの間にハンドラーの手や足が入った場合は始点からのやり直しとなります。
1番目のバーは左右どちらから入ってもかまいません。

☆加算ポイントについて(1Pは1秒)

- ①総合、ハイスピード共通の加算ポイント
競技中の排泄→タイムに**30P**加算
ハンドラー(併走者)が機材に触れる→タイムに**20P**加算
参加犬が機材を倒す→タイムに**10P**加算
ゴールの逆走(逆方向からゴールして時計を止める)→タイムに**5P**加算
- ②総合種目のみ
ジャンプ機材のバーを落下させた場合→タイムに**3P**加算
※ただし、参加犬がジャンプ機材の柱と柱の間を通らずに機材にあたってバーが落下した場合、始点側からそのジャンプ機材の柱と柱の間を通れば**3P**加算、戻らなければその機材は**不通過**とみなされ、**失格**となります。

☆失格について

- ①総合・ハイスピード共通
 - I 制限タイムをオーバーした場合。
※ミニチュア総合120秒、オープン総合90秒(参加頭数により変更有り)、ハイスピード(ミニチュア・オープン 共)60秒以内。
 - II 競技中、参加犬がテープなどで区切られた競技フィールドの外に出てしまった場合。
 - III 主催者、または審判の指示に従わなかった場合。
 - IV 参加犬がスタート台に4本の足が載っていない状態、あるいはスタート台の外(地面)からの駆け込み状態で時計を作動させてしまった場合。
 - V 競技中ハンドラーが故意に参加犬に触れる(連れ戻したり、押すなど)
※参加犬の方からぶつかってきたり、寄ってくる場合などは失格とはならないが、その参加犬を手で押し返したりすると失格となります、ご注意ください。
 - VI 決められた障害機材をすべてクリアする前にゴール(時計を止める)した場合。
 - VII 参加犬がスタート後、ゴールする前にハンドラーがポケットなどからオモチャなどを取り出したり、とばされそうになっている帽子等を手に持った場合
 - VIII 参加犬がスタート後、ゴールする前にハンドラー以外の方がフィールド内に入った場合。
例：リード等を取りに入る。ゴールラインより内側に入って応援する。等
- ②競技中以外の失格事項
 - I ルール・機材・進行・運営・その他主催者決定事項についてクレームをつけた場合。
また、判定・成績・順位についてクレームをつけた場合。
 - II 参加登録手続きに虚偽の申告があったと判断されたとき。
 - III 他の参加者に対する誹謗、中傷などスポーツマンシップに反する行為があった場合。
 - IV 犬に対して残虐性のある行為や動物愛護精神に反する行為が見られた場合。

エクストリーム2016「特別種目&追加練習」説明書

◎総合種目「シニアクラス」について

「シニアクラス」を今年度もおこないます。対象年齢は7歳以上のシニア犬です。内容はジャンプ機材のバーの高さをミニチュア総合はすべて20cm、オープン総合はすべて60cmとなりますが、参加犬すべてに6ポイント加算されます。ただし、記録は残り順位に反映されます。他ルールにつきましては正規の総合種目と同じです。参加は事前申請が必要です、希望する愛犬は申込書の総合(シニアクラス)に丸印をつけてください。なお、参加料は正規の総合種目と同様で1頭につき5,000円です。また、開催順は特別ルール参加犬の後、出走順はシニアクラス参加犬での当日抽選により決まります。

◎総合種目「特別ルール」について

「特別ルール」について、参加料は昨年同様で1頭につき各会場とも4,000円(ミニチュア、オープン共)となります。正規の総合種目と違う点は、ジャンプ機材のバーの高さをミニチュア総合はすべて20cm、オープン総合はすべて40cmとします。マウンテン機材につきましては、補助台(ハンドラー用)を通っても通過とみなします。なお、ミニチュアクラスのみ、リング機材をパスできます。前述以外のルールは同様です。ただし、記録は参考記録(記録表に完走タイムは表示されます)となり順位には反映されません。また、出走は本戦前におこない、出走順は特別ルール参加犬での当日抽選により決まります。

なお、「特別ルール」につきましてはオープンクラスの愛犬でもミニチュアクラスに参加できます

◎各地区大会開始前の「追加練習」について(※一部変更)

地区大会当日「総合」は以下【A】追加1周練習走行、「ハイスピード」は【B】追加1周練習走行を有料ではありますが設けます。(今年度は総合の「部分練習」はありません)

ただし、1日開催の地区大会につきましては、時間の関係上「追加練習」はありません。希望される方は、地区大会と併せてお申し込みください。(原則事前申込)

【A】: 総合追加1周練習走行の制限時間は1頭につき、最長で2分間与えられます。

※ゴールゲートを通過しても時間内であれば同じ機材を何度でもやりなおしができます。また、参加犬が場外に出てもハンドラーが場内から時間内に呼び戻すことができれば続行できます。

【B】: ハイスピード追加1周練習走行の制限時間は1頭につき、最長で1分間です。制限時間以外は、【A】※と同様です。

【A】【B】参加料・・・・・・・・・・・・・・・・・・1会場1頭につき各1,000円

◇なお、総合、及びハイスピードは両種目とも例年通り本戦前に1週の練習走行ができますが、総合は同じ機材のやり直しは1回まで、ハイスピードは同じハードルのやり直しを1回までとします。総合、ハイスピードとも参加犬が場外に出た場合、その時点で終了となります。

◇練習時間の進行方法→「総合」全参加犬の1周練習→「総合」追加申込犬の1周練習→「ハイスピード」全参加犬の1周練習→「ハイスピード」追加申込犬の1周練習